

令和元年 11 月 30 日

各位

株式会社 徳
ノリックス有限会社・有限会社和公
代表取締役 鷲岡和徳

前略、今月も社業に専心頂きありがとうございます。めっきりと寒くなり今年の夏の暑さが嘘のようです。12月是我们の仕事の忙しさがピークの時期に入ります。皆様にはどうか身体を慈愛していただきたいと思います。

毎年12月を迎えると月日の経つ速さを実感致します。朝と夜は繰り返され、また1日がやってきます。1年はその繰り返しと言えます。しかし同じように見える1日は全く同じではありません。私たちが身を置く環境は日々変わってきています。特に近年はその変化が大きいと思います。環境が変化するという事は私たち自身も大切なものは変えずに守りながらも何かを変えなければなりません。そのための方法を「イノベーション」と言います。

誰もが明日のことを思い考えます。しかしながらそのための準備を今日のうちに行う人は少数です。今日考えて、自身で決定し、自ら行動を起こすことでしか未来を作り出すことはできません。私たちのような会社の組織も同様です。新しい事業を起こさない会社組織には未来はありません。何故ならばすべてのものは時間の経過とともに古くなるからです。去年流行っていたファッションも今年は古臭くなり、去年よく売れた料理メニューは今年も売れるとは限らない世の中です。

タイヤメーカーとして有名な「ブリジストン」は仕立て屋で創業し、足袋屋にシフトして、滑らないゴム底の足袋を開発する中でゴムに関する知見を深め、ゴム靴、タイヤ製造へと業態を転換させてきました。新事業の苦難も経験しながら社会に求められた結果を出した良い例だと思います。会社というものはあくまで社会の道具でしかありません。それゆえに「イノベーション」は自分たちの会社のために行うものではなく、社会やお客様の要求や期待に応えるために行います。そのために私たちは世の中の食生活の「不便」「不満」「不快」「不安」を解決し、新しい価値を創造しなければなりません。

「イノベーション」とは変化する環境に適応しながら新しい価値を社会に生み出すことと言えます。お釈迦様の最期の言葉が「すべてのものは移りゆく、怠らず努めよ」と言われています。この言葉を私は経営者として心にいつも刻んでいます。

【社是】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

【モットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世のため人のため～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう。

草々